

平成26年10月～12月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺市
堺商工会議所

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 平成26年12月15日（月）～平成26年12月31日（水）
4. 回収率

	調査対象数	回収数	回収率
建設業	200社	118社	59.0%
製造業	200社	114社	57.0%
卸売業	100社	55社	55.0%
小売業	100社	53社	53.0%
サービス業	200社	121社	60.5%
全産業	800社	461社	57.6%

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別のD I 値の意味について】

- 業況判断 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(10月～12月期)の前年同期比を見ると、採算は横ばいであったが、売上高、資金繰り、雇用人員はやや悪化している。

需要の減少や原材料価格の上昇等により、業況判断はやや悪化し、悪化傾向は3期連続となっている。

また、来期(1月～3月期)については、業況判断はやや改善、雇用人員は改善と予測されているものの、売上高、採算はともに悪化、資金繰りはやや悪化と予測されており、今後も引き続き市内中小企業の動向を注視していく必要がある。

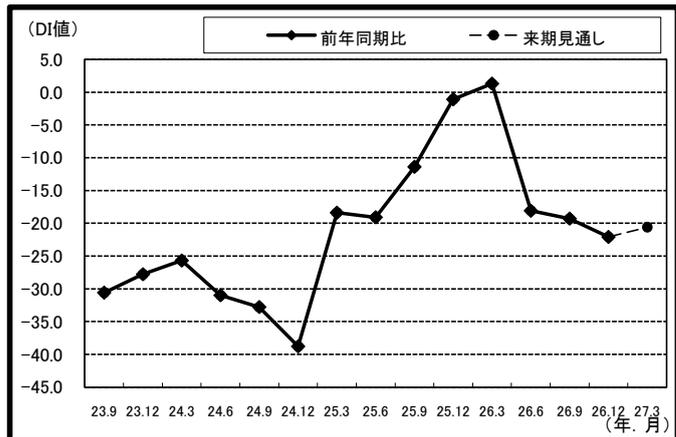
1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標はやや悪化し、悪化傾向は3期連続。
($\Delta 19.3 \Rightarrow \Delta 22.1$)

・来期見通しの指標はやや改善と予測。
($\Delta 22.1 \Rightarrow \Delta 20.6$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は悪化し、悪化傾向は4期連続。製造業、卸売業は悪化し、ともに悪化傾向は3期連続。小売業、サービス業は改善。

・前年同期比の指標はやや悪化し、悪化傾向は3期連続。



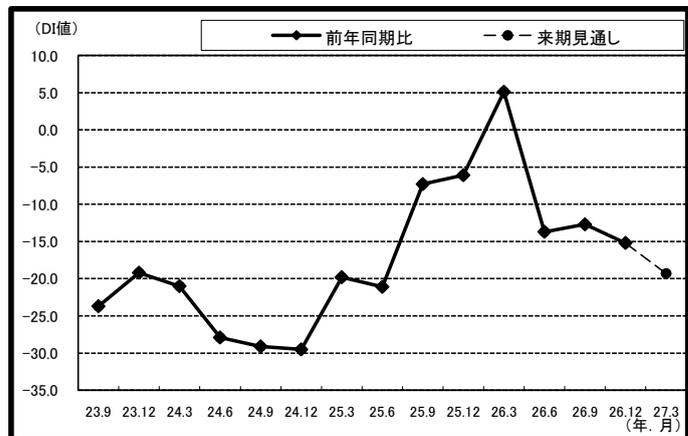
2. 売上高の動向

・前年同期比の指標はやや悪化。
($\Delta 12.7 \Rightarrow \Delta 15.2$)

・来期見通しの指標は悪化と予測。
($\Delta 15.2 \Rightarrow \Delta 19.3$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は悪化し、悪化傾向は3期連続。製造業、卸売業は悪化。小売業は改善。サービス業も改善し、改善傾向は2期連続。

・前年同期比の指標はやや悪化。



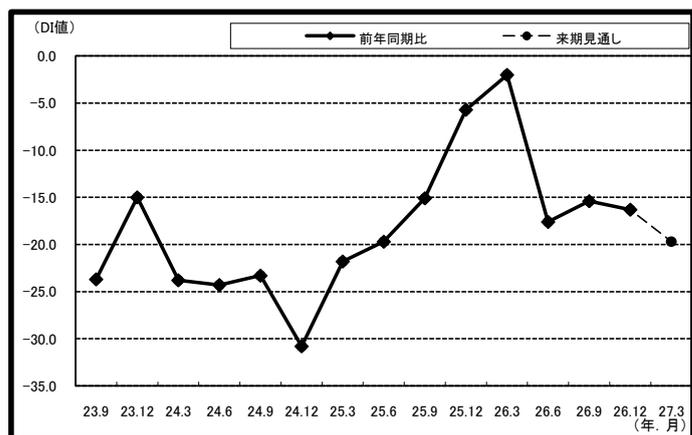
3. 採算の動向

・前年同期比の指標は横ばい。
($\Delta 15.4 \Rightarrow \Delta 16.3$)

・来期見通しの指標は悪化と予測。
($\Delta 16.3 \Rightarrow \Delta 19.7$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、製造業、卸売業は悪化。小売業、サービス業はともに改善。

・前年同期比の指標は横ばい。



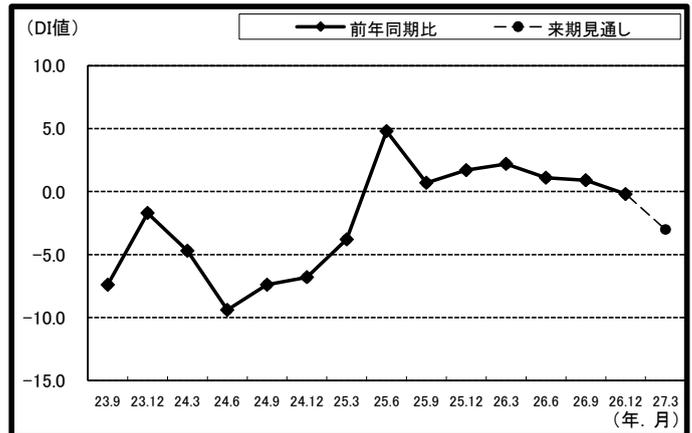
4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標はやや悪化。
(0.9⇒△0.2)

・来期見通しの指標もやや悪化と予測。
(△0.2⇒△3.0)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業はやや悪化。製造業はやや改善。卸売業は悪化。小売業、サービス業は横ばい。

・前年同期比の指標はやや悪化。



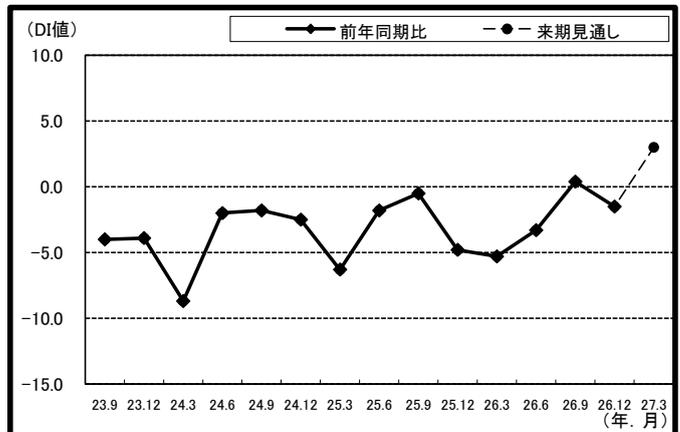
5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標はやや悪化。
(0.4⇒△1.5)

・来期見通しの指標は改善と予測。
(△1.5⇒3.0)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業はやや悪化。製造業は改善。卸売業は悪化し、悪化傾向は3期連続。小売業、サービス業はともに悪化。

・前年同期比の指標はやや悪化。



来期見通し

平成26年1月～3月期と比較した平成27年1月～3月期の見通しは、業況判断はやや改善、売上高、採算は悪化、資金繰りはやや悪化、雇用人員は改善と予測している。

お 問 い 合 わ せ 先

〒591-8502

堺市北区長曾根町 130 番地 23

堺商工会議所

経営支援部経営支援課

TEL 072-258-5581

FAX 072-258-5580